



## INDEX

### Numerics

- 10 ギガビットイーサネット ポート
  - ギガビットイーサネット SFP ポートの配置 6-8
- 10 ギガビットイーサネット ポートおよびギガビットイーサネット SFP ポートの配置 6-8
- 10 ギガビットイーサネット ポートおよびギガビットイーサネット ポートの WS-X4606-10GE-E および Supervisor Engine 6-E への配置 6-10
- 10 ギガビットイーサネット ポートまたはギガビットイーサネット ポート
  - WS-X4606-10GE-E および Supervisor 6-E 6-10
- 10/100 自動ネゴシエーション機能、強制 6-15
- 1400 W DC SP トリプル入力電力装置
  - 特記事項 10-18
- 1400 W DC 電力装置
  - 特記事項 10-17
- 802.10 SAID (デフォルト) 13-5
- 802.1Q
  - 他の機能を備えたトンネル ポート 23-6
  - トランク 17-6
  - トンネリング
    - 説明 23-2
    - 他の機能との互換性 23-5
    - デフォルト 23-4
- 802.1Q VLAN
  - カプセル化 15-4
  - トランクの制約事項 15-6
- 802.1s
  - MST を参照
- 802.1w
  - MST を参照
- 802.1X
  - ポートベースの認証を参照
- 802.1X で許可ステートのポート 37-5
- 802.1X で無許可ステートのポート 37-5
- 802.1X 認証
  - MAC 認証バイパスに対する 37-10
  - RADIUS アカウンティング 37-16
  - VLAN 割り当て 37-7

- WoL 37-12
- 音声 VLAN ポート 37-19
- クリティカル認証に対する 37-12
- ゲスト VLAN 37-9
- ポート セキュリティ 37-15
- 802.3ad
  - LACP を参照
- A
- AAA 39-1
- ACE
  - ACL 42-2
  - IP 42-2
  - レイヤ 4 演算の制約事項 42-16
- ACE と ACL 39-1
- ACL
  - ACE 42-2
  - CPU への影響 42-18
  - IP、ポート ACL の一致基準 42-4
  - MAC 拡張 42-20
  - SPAN 45-6
  - Sup 6-E の TCAM プログラミング 42-16
  - Sup II-Plus から V-10GE の TCAM プログラミング 42-7
  - TCAM プログラミング アルゴリズム 42-8
  - TCAM プログラミング アルゴリズムの変更 42-9
  - TCAM リージョンのサイズ変更 42-11
  - VLAN マップ 42-5
  - VLAN マップでの設定 42-32
  - 同じスイッチでの互換性 42-3
  - 概要 42-2
  - 高 CPU のトラブルシューティング 42-12
  - サポートされるタイプ 42-3
  - 処理 42-18
  - スイッチド パケットへの適用 42-32
  - 制御パケットのキャプチャのモード選択 42-13

- ハードウェアおよびソフトウェアのサポート 42-6
- ポート
  - 音声 VLAN 42-5
  - 制限 42-5
  - 定義 42-3
- ルータ ACL の一致基準 42-3
- ルーテッド パケットへの適用 42-33
- レイヤ 3 インターフェイスへの IPv6 ACL の適用 42-23
- ACL および VLAN マップ、例 42-26
- ACL による高 CPU のトラブルシューティング 42-12
- ACL による高 CPU、トラブルシューティング 42-12
- ARP
  - 定義 4-31
  - テーブル
    - アドレス解決 4-31
    - 管理 4-31
- Automatic QoS
  - QoS を参照
- Auto-QoS
  - 設定 34-19
- auto-sync コマンド 8-8
- B**
  - b flash コマンド 53-3
  - b コマンド 53-3
  - BackboneFast
    - MST 17-26
    - STP も参照
    - 概要 19-16
    - サポートされていない MST 17-26
    - スイッチの追加 (図) 19-4
    - 設定 19-19
    - リンク障害 (図) 19-17, 19-18
  - BGP 1-9
    - Multi-VRF CE のルーティング セッション 33-7
  - boot bootldr コマンド 3-33
  - boot system flash コマンド 3-30
  - boot system コマンド 3-28, 3-33
  - boot コマンド 3-29
  - Border Gateway Protocol
    - ボーダー ゲートウェイ プロトコル
      - BGP を参照
- BPDU
  - 擬似ブリッジ 17-28
  - 内容 17-3
  - メディア速度 17-2
- BPDU ガード
  - MST 17-26
  - 概要 19-9
  - 設定 19-19
- BSR
  - 設定例 31-24
- C**
  - Catalyst 4500 スイッチでの電源管理の制限事項 10-9
  - Catalyst 4500 スイッチの電源管理
    - 冗長モード 10-8
    - 複合モード 10-8
  - CDP
    - LLDP で定義 25-2
    - インターフェイス上でのイネーブル化 24-3
      - 概要 1-2, 24-2
      - コミュニティ内の自動検出 12-7
    - 信頼境界 34-28
      - 設定 24-2
      - 設定の表示 24-3
    - メンテナンス 24-4
    - モニタリング 24-4
    - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 23-8
  - cdp enable コマンド 24-3
  - CE デバイス 33-2
  - CEF
    - イネーブル化 28-7
    - および NSF/SSO 9-6
      - 概要 28-2
      - ソフトウェア スイッチング 28-4
      - 統計情報の表示 28-9
      - ハードウェア スイッチング 28-4
      - 隣接関係テーブル 28-2
      - ロード バランシング 28-6
      - ロード バランシングの設定 28-7
  - CGMP
    - 概要 21-2
  - channel-group group コマンド 20-8, 20-10
  - Cisco 7600 シリーズ インターネット ルータ
    - SNMP のイネーブル化 52-5

- Cisco Discovery Protocol
  - シスコ検出プロトコル
  - CDP を参照
- Cisco Express Forwarding
  - CEF を参照
- Cisco Group Management Protocol
  - CGMP を参照
- Cisco IOS NSF 対応サポート 9-2
- Cisco IOS NSF 認識
  - サポート 9-2
- Cisco IP Phone
  - 音質 35-2
  - 設定 35-4
- CiscoWorks 2000 47-5
- CIST
  - 説明 17-26
- class-map コマンド 34-35
- clear cdp counters コマンド 24-4
- clear cdp table コマンド 24-4
- clear counters コマンド 6-31
- clear ip eigrp neighbors コマンド 27-21
- clear ip flow stats コマンド 48-10
- CLI
  - 1 レベル後退 2-6
  - ROM モニタ 2-9
  - アクセス 2-2
  - 環境のモニタ 45-1
  - クラスタの管理 12-14
  - コマンドの取得 2-7
  - ソフトウェアの基礎知識 2-5
  - ヒストリ置換 2-4
  - モード 2-6
- Common and Internal Spanning-Tree
  - CIST を参照
- Common Spanning-Tree
  - CST を参照
- config-register コマンド 3-30
- configure terminal コマンド 3-9, 3-30, 6-3
- confreg コマンド 53-4
- CoPP
  - 概要 39-2
  - コントロールプレーン コンフィギュレーション
    - モード
    - 設置 39-5
  - コントロールプレーン コンフィギュレーション
    - モードの開始 39-5
- コントロールプレーンに QoS サービス ポリシー
  - を適用 39-5
- 設定
  - MLS QoS のイネーブル化 39-5
  - サービス ポリシー マップ 39-5
  - トラフィックに一致する ACL 39-5
  - パケット分類基準 39-5
- 統計情報のモニタリング 39-10
- 表示
  - ダイナミック情報 39-10
  - 適合するバイトとパケットの数 39-10
  - 比率情報 39-10
- copy running-config startup-config コマンド 3-10
- copy system:running-config nvram:startup-config コマンド
  - 3-33
- CoS
  - Cisco IP Phone での変更 35-7
  - 図 34-2
  - 定義 34-4
  - プライオリティ 35-7
- CoS 値、インターフェイス用の設定 34-57
- CoS 転換
  - 設定 34-44
- CoS/DSCP マップ 34-61
- CPU ポートのスニッフィング 45-12
- CPU、ACL 処理の影響 42-18
- CST
  - IST 17-25
  - MST 17-25
  - 説明 17-29
- D
- DBL
  - グローバルに 34-30
  - 特定 CoS 値 34-32
  - 特定 IP DSCP 値 34-31
- DBL 経由の AQM、Supervisor Engine 6-E での QoS
  - 34-93
- DBL 経由のアクティブ キュー管理、Supervisor Engine
  - 6-E での QoS 34-93
- description コマンド 6-18
- dev コマンド 53-3
- DHCP オプション 82
  - 概要 40-4
- DHCP スヌーピング
  - イネーブル化 40-9

- イネーブル化、およびオプション 82 40-11
- エッジスイッチからの信頼できないパケットの受け入れ 40-11
- オプション 82 データ挿入 40-4
- 概要 40-2
- 集約スイッチ上でのイネーブル化 40-11
- 情報の表示 40-18
- スヌーピング データベース エージェント 40-3
- 設定 40-8
- 設定の表示 40-18
- データベース エージェントのイネーブル化 40-13
- デフォルト設定 40-8
- バインディング テーブルの表示 40-18
- プライベート VLAN 上でのイネーブル化 40-13
- メッセージの交換プロセス 40-5
- DHCP スヌーピング データベース エージェント
  - TFTP ファイルからの読み取り (例) 40-15
  - イネーブル化 (例) 40-14
  - 概要 40-3
  - データベースへの追加 (例) 40-17
- DHCP ベースの自動設定
  - BOOTP に対する関係 3-3
  - 概要 3-2
  - クライアントの要求メッセージの交換 3-3
  - 設定
    - DNS 3-5
    - TFTP サーバ 3-5
    - クライアント側 3-3
    - サーバ側 3-4
    - リレー装置 3-6
  - リース オプション
    - IP アドレス情報 3-4
    - コンフィギュレーション ファイルの受信 3-4
  - 例 3-7
- DiffServ アーキテクチャ、QoS 34-2
- DiffServ コード ポイント値
  - DSCP 値を参照
- dir device コマンド 53-3
- disconnect コマンド 7-8
- DNS
  - DHCP ベースの自動設定 3-5
  - 概要 4-15
  - 設定 4-16
  - 設定の表示 4-17
- デフォルト設定 4-16
- Domain Name System
  - DNS を参照
- DoS 攻撃
  - IP アドレス スプーフィング、軽減 29-5
  - ユニキャスト RPF、展開 29-5
- DSCP 値
  - IP precedence 34-2
  - 送信キューへのマッピング 34-59
  - 定義 34-4
  - マークダウンのマッピング 34-26
  - マップの設定 34-61
- DSCP 値、ポート値の設定 34-58
- DSCP マップ 34-61
- DSCP/CoS マップ
  - 設定 34-63
- DTP
  - VLAN トランク 15-4
- duplex コマンド 6-17
- Dynamic ARP Inspection
  - ARP キャッシュのポイズニング 41-2
  - ARP パケットのレート制限 41-5
    - 設定 41-18
  - DoS 攻撃、防止 41-18
  - インターフェイスの信頼状態、セキュリティ適用範囲 41-3
  - 概要 41-2
  - 確認検査、実行 41-20
  - スタティック バインディングのプライオリティ 41-4
  - 設定
    - DHCP 環境 41-6
    - 着信 ARP パケットのレート制限 41-18
    - 非 DHCP 環境の ACL 41-11
    - ログ バッファ 41-15
    - ドロップされたパケットのロギング 41-4
    - ポート チャネル、その動作 41-5
    - 目的 41-3
    - ログ バッファ
      - 設定 41-15
- Dynamic Host Configuration Protocol スヌーピング
  - DHCP スヌーピングを参照
- Dynamic Trunking Protocol
  - ダイナミック トランッキング プロトコル
    - DTP を参照

- E**
- E シリーズでの Enhanced PoE サポート 11-15
  - EAP フレーム
    - Request/Identity 37-4
    - Response/Identity 37-4
    - 交換 (図) 37-5, 37-6, 37-11
    - 再送信回数の設定 37-48
    - 再送信時間の変更 37-47
  - EAPOL フレーム
    - 802.1X 認証 37-3
    - OTP 認証、例 (図) 37-5, 37-11
    - 開始 37-4
  - EGP
    - 概要 1-9
  - EIGRP
    - 設定例 27-21
    - モニタリングおよびメンテナンス 27-21
  - eigrp stub コマンド 27-20
  - EIGRP スタブルルーティング、設定 27-15
  - EIGRP (Enhanced IGRP)
    - スタブルルーティング
      - 概要 27-16
      - 確認 27-20
      - 制約事項 27-20
      - 設定 27-16
      - 設定作業 27-20
      - 利点 27-20
  - EIGRP (拡張 IGRP)
    - 概要 1-9
  - enable コマンド 3-9, 3-30
  - Enhanced Interior Gateway Routing Protocol
    - EIGRP を参照
  - EtherChannel
    - channel-group group コマンド 20-8, 20-10
    - interface port-channel コマンド 20-7
    - lacp system-priority
      - コマンド例 20-13
  - PAgP
    - 概要 20-4
    - port-channel load-balance コマンド 20-14
    - インターフェイスの削除 20-15
      - 概要 20-2
      - 削除 20-15
      - 設定 20-7?20-15
      - 設定時の注意事項 20-6
    - 物理インターフェイスの設定 20-8
    - ポートチャンネル インターフェイス 20-2
      - モード 20-3
      - レイヤ 2 の設定 20-10
      - レイヤ 3 の設定 20-7
  - Explicit Host Tracking
    - イネーブル化 21-10
  - Extensible Authentication Protocol over LAN 37-2
  - Exterior Gateway Protocol
    - EGP を参照 1-9
- F**
- FIB
    - MFIB も参照
    - 説明 28-2
  - frame コマンド 53-7
- G**
- get-bulk-request 動作 47-4
  - get-next-request 動作 47-4, 47-5
  - get-request 動作 47-4, 47-5
  - get-response 動作 47-4
- H**
- hello タイム (STP)
    - 設定 17-20
  - Hot Standby Router Protocol
    - HSRP を参照
  - HSRP
    - 説明 1-8
  - http
    - [//www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/software/ios124/124tcr/tcf\\_r/index.htm](http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/software/ios124/124tcr/tcf_r/index.htm) 24-1, 46-1, 47-1, 49-1
  - hw-module module num power コマンド 10-20
- I**
- i コマンド 53-3
  - ICMP
    - IP traceroute の実行 7-10
    - ping 7-9

- Time-Exceeded メッセージ 7-10
- イネーブル化 7-13
- IDS
  - SPAN と RSPAN で使用 45-3
- IEEE 802.1s
  - MST を参照
- IEEE 802.1w
  - MST を参照
- IEEE 802.3ad
  - LACP を参照
- IGMP
  - Explicit Host Tracking 21-4, 21-10
  - IGMP を参照
  - Leave タイマーの設定
    - イネーブル化 21-9
  - イネーブル化 31-15
  - 概要 21-2
  - 設定可能な Leave タイマー 21-4
  - 説明 31-3
  - 即時脱退処理 21-3
  - 脱退処理、イネーブル化 22-10
  - レポート抑制
    - ディセーブル化 22-12
- IGMP グループ
  - 最大数の設定 21-23
- IGMP スヌーピング
  - IP マルチキャスト 31-4
  - イネーブル化 21-5, 21-6
  - イネーブル化およびディセーブル化 22-7
  - 概要 21-2
  - 設定時の注意事項 21-5
  - デフォルト設定 22-6, 22-7
- IGMP 即時脱退
  - 設定時の注意事項 21-9
- IGMP フィルタリング
  - 設定 21-20
  - 説明 21-20
  - デフォルト設定 21-20
- IGMP プロファイル
  - コンフィギュレーション モード 21-20
  - 設定 21-21
  - 適用 21-22
- IGRP
  - 説明 1-10
- interface port-channel コマンド 20-7
- interface range macro コマンド 6-7
- interface range コマンド 6-5
- interface コマンド 3-9, 6-2
- Interior Gateway Routing Protocol
  - IGRP を参照
- Internet Control Message Protocol
  - ICMP を参照
- IP
  - スタティック ルートの設定 3-12
  - デフォルト ゲートウェイの設定 3-11
  - 統計情報の表示 28-9
  - フロー スイッチング キャッシュ 48-10
- ip cef コマンド 28-7
- IP Enhanced IGRP
  - インターフェイス、表示 27-21
- ip flow-aggregation cache destination-prefix コマンド 48-12
- ip flow-aggregation cache prefix コマンド 48-12
- ip flow-aggregation cache source-prefix コマンド 48-12
- ip flow-export コマンド 48-10
- ip icmp rate-limit unreachable コマンド 7-13
- ip igmp profile コマンド 21-20
- ip igmp snooping tcn flood query count コマンド 21-13
- ip igmp snooping tcn flood コマンド 21-12
- ip igmp snooping tcn query solicit コマンド 21-14
- ip load-sharing per-destination コマンド 28-8
- ip local policy route-map コマンド 32-5
- ip mask-reply コマンド 7-14
- IP MTU サイズ、設定 27-10
- ip multicast-routing コマンド 31-15
- IP Phone
  - Cisco IP Phone を参照 35-2
  - QoS の信頼境界 34-28
  - 音声ポートの設定 35-5
  - 自動分類およびキューイング 34-19
- ip pim dense-mode コマンド 31-15
- ip pim sparse-dense-mode コマンド 31-16
- ip pim コマンド 31-16
- ip policy route-map コマンド 32-5
- ip redirects コマンド 7-14
- ip route-cache flow コマンド 48-8
- IP traceroute
  - 概要 7-10
  - 実行 7-10
- ip unreachable コマンド 7-13
- IP アドレス
  - クラスタ コマンド スイッチ 12-12

- クラスタの候補またはメンバ 12-13
- 検出 4-31
- IP アンナナンバード サポート
  - DHCP オプション 82 14-2
  - DHCP サーバとリレー エージェントでの LAN および VLAN インターフェイスに対する設定 14-4
  - イーサネット VLAN 範囲に対する設定 14-5
  - エージェント リモート ID サブオプションの形式 14-3
  - 接続したホストのポーリングでの 14-3
  - 接続したホストのポーリングでの設定 14-6
  - 設定の表示 14-8
  - トラブルシューティング 14-9
- IP 以外のトラフィックのフィルタリング 42-20
- IP 情報
  - 割り当て
    - DHCP ベースの自動設定 3-3
- IP ソース ガード
  - 概要 40-19
  - 設定 40-20
  - 表示 40-22, 40-24
  - プライベート VLAN 上での設定 40-21
- IP 統計情報
  - 表示 28-9
- IP マルチキャスト
  - Auto-RP、IGMP、PIM、RP、RPF も参照
  - IGMP スヌーピング 21-5, 31-4
  - PIM 情報の表示 31-17
  - イネーブル化 31-15
    - 概要 31-2
    - 希薄モードのイネーブル化 31-16
    - サポートされない機能 31-13
    - 稠密モード PIM のイネーブル化 31-15
      - 設定 31-14
      - ソフトウェアによる転送 31-9
      - テーブル エントリの削除 31-23
      - デフォルト設定 31-14
      - ハードウェアによる転送 31-9
      - モニタリング 31-17
      - ルーティング テーブル情報の表示 31-18
      - ルーティング プロトコル 31-3
- IP ユニキャスト
  - 統計情報の表示 28-9
- IP ルーティング テーブル
  - エントリの削除 31-23
- IPX
  - EIGRP によるルート情報の再配布 1-9
- ISL
  - 802.1Q トンネリングによるトランキン グ カプセル化 23-4 15-4
- ISSU
  - Cisco Feature Navigator を使用した互換性の検証 5-13
  - NSF の概要 5-3
  - SNMP サポート 5-13
  - SSO の概要 5-3
  - 互換性マトリクス 5-12
  - サポートするソフトウェアのバージョン許容範囲 5-11
  - 制約事項 5-2
  - 前提条件 5-2
  - プロセスの概要 5-6
  - プロセスの実行
    - ISSU ステートの確認 5-17
    - 新しくスタンバイになったスーパーバイザ エンジンへの新しいソフトウェアのロード 5-24
    - 互換性マトリクスの表示 5-28
    - 冗長モードの確認 5-15
    - スタンバイ スーパーバイザ エンジンへの新しいソフトウェアのロード 5-17
    - スタンバイ スーパーバイザ エンジンへの切り替え 5-20
    - セーフガードとしてのロールバック タイマーの設定 5-27
    - ソフトウェア アップグレードの中断 5-26
    - ソフトウェア インストールの確認 5-14
    - ロールバック タイマーの停止 5-23
- IST
  - MST リージョンを参照 17-25
  - 説明 17-25
  - マスター 17-30
- L
  - l2protocol-tunnel コマンド 23-12
- LACP
  - システム ID 20-5
- Link Layer Discovery Protocol
  - CDP を参照

## LLDP

- イネーブルおよびディセーブル
  - インターフェイス上 25-6
  - グローバルに 25-5
- 概要 25-2
- 設定 25-4
  - デフォルト設定 25-4
  - 特性 25-4
- 送信タイマーおよびホールドタイム、設定 25-4
- モニタリングおよびメンテナンス 25-8
- LLDP Media Endpoint Discovery
  - LLDP-MED も参照
- LLDP-MED
  - 概要 25-2
  - サポートされる TLV 25-2
  - 設定
    - TLV 25-7
    - 手順 25-4
  - モニタリングおよびメンテナンス 25-8
- logoutwarning コマンド 7-7

## M

- M ツリー 17-26
- M レコード 17-26
- MAC アドレス
  - ACL 42-20
  - DHCP スヌーピング バインディング テーブルでの表示 40-18
  - VLAN アソシエーション 4-21
  - エージング タイム 4-21
  - 検出 4-31
  - スタティック
    - 削除 4-28
    - 追加 4-28
    - 特性 4-27
    - ドロップ 4-29
    - 認可 4-30
  - スティッキ 38-5
  - スティッキ セキュア、追加 38-6
  - ダイナミック
    - 学習 4-20
    - 削除 4-22
  - ダイナミックからスティッキ セキュアへの変換 38-6

- テーブルの作成 4-20, 15-3
- デフォルト設定 4-21
- 表示 4-30, 7-4
- 割り当て 17-6
- MAC アドレスの限定 17-2
- MAC 拡張アクセス リスト 42-20
- MAC 認証バイパス
  - 802.1X による設定 37-36
- MAC/PHY コンフィギュレーション ステータス TLV 25-2
- main-cpu コマンド 8-8
- mask destination コマンド 48-12
- mask source コマンド 48-12
- match ip address コマンド 32-4
- MDA
  - 設定時の注意事項 37-20?37-21
  - 説明 37-20
- meminfo コマンド 53-7
- MFIB
  - CEF 31-6
  - 概要 31-12
  - 表示 31-21
- MIB
  - SNMP の相互作用 47-5
  - 概要 47-2
  - 関連情報 52-3
  - コンパイル 52-4
  - ダウンロード 52-3, 52-4
- MIB のコンパイル 52-4
- MIB のダウンロード 52-3, 52-4
- MLD Done メッセージおよび即時脱退 22-4
- MLD クエリー 22-3
- MLD スヌーピング
  - MLD Done メッセージおよび即時脱退 22-4
  - MLD クエリー 22-3
  - MLD メッセージ 22-3
  - MLD レポート 22-4
  - 概要 22-2
  - マルチキャスト クライアント エージングの堅牢性 22-3
  - マルチキャスト ルータ 検出 22-4
- MLD メッセージ 22-3
- MLD レポート 22-4
- MST
  - BPDU 17-26
  - PVST+ とのインターオペラビリティ 17-26
  - SST とのインターオペラビリティ 17-28



- イネーブル化 17-33
- インスタンス
  - サポートされる数 17-29
  - 説明 17-26
  - パラメータの設定 17-36
- エッジポート 17-30
- 境界ポート 17-30
- コンフィギュレーションパラメータ 17-29
- 制約事項 17-32
- 設定 17-33
- 設定の表示 17-37
- 複数のスパニングツリー 1-3, 17-25
- ホップカウント 17-31
- マスター 17-30
- メッセージエージ 17-31
- リージョン 17-29
- リンクタイプ 17-31
- MSTP
  - M ツリー 17-26
  - M レコード 17-26
- MTU
  - 概要 6-23
- MTU サイズ
  - 設定 6-25, 6-26, 6-33, 6-34
  - デフォルト 13-5
- Multiple Spanning-Tree
  - MST を参照
- Multi-VRF CE
  - コンポーネント 33-3
  - 設定例 33-8
  - 定義 33-1
  - デフォルト設定 33-4
  - ネットワークコンポーネント 33-3
  - パケット転送プロセス 33-3
  - 表示 33-12
- N
- NetFlow
  - destination-prefix 集約
    - 最小マスク、設定 48-12
    - 設定 (例) 48-17
  - IP
    - フロースイッチング キャッシュ 48-10
  - prefix 集約
    - 最小マスク、設定 48-12
    - 設定 (例) 48-15
  - source-prefix 集約
    - 最小マスク、設定 48-12
  - 集約
    - 最小マスク、デフォルト値 48-11
  - スイッチング
    - キャッシュ エントリのエクスポート 48-10
    - 収集のイネーブル化 48-8
    - スイッチド IP フローの設定 48-8
    - 設定 (例) 48-14
    - 統計情報 48-10
    - 必要なハードウェアの確認 48-7
- NetFlow 統計情報
  - キャッシュ エントリのエクスポート 48-10
  - 収集機能の概要 48-2
  - 収集機能の設定 48-7
  - 収集のイネーブル化 48-8
  - スイッチド/ブリッジド IP フロー 48-8
  - スーパーバイザの注意事項 48-7
  - 必要なハードウェアの確認 48-7
- Network Assistant
  - CLI コマンドの概要 12-3
  - VTY 12-13
  - 設定する
    - スイッチとの通信を可能にする 12-14, 12-18
  - デフォルト設定 12-2
- Network Time Protocol
  - NTP を参照
- Next Hop Resolution Protocol
  - NHRP を参照
- NFFC/NFFC II
  - IGMP スヌーピング 21-5
- NHRP
  - サポート 1-10
- Nonstop Forwarding
  - NSF を参照
- NSF
  - 注意事項および制約事項 9-10
  - 定義 9-1
  - 動作 9-5
- NSF 対応
  - サポート 9-2
  - スーパーバイザ エンジン 9-4
- NSF 認識
  - サポート 9-2

- スーパーバイザ エンジン 9-3
- NSF/SSO スーパーバイザ エンジンの冗長構成
  - SSO の動作 9-5
  - および CEF 9-6
  - 概要 9-4
- NTP
  - アクセスの制限
    - アクセス グループの作成 4-9
    - インターフェイス単位での NTP サービスの  
ディセーブル化 4-10
  - アソシエーション
    - サーバ 4-6
    - 定義 4-3
    - 認証 4-4
    - ピア 4-6
    - ブロードキャスト メッセージのイネーブル化  
4-7
  - 概要 4-2
  - 時刻
    - サービス 4-3
    - 同期化 4-2
  - ストラタム 4-2
  - 設定の表示 4-11
  - 送信元 IP アドレス、設定 4-10
  - デバイスの同期化 4-6
  - デフォルト設定 4-4
- NVRAM
  - 設定値の保存 3-10
- O
- OIR
  - 概要 6-30
- Open Shortest Path First
  - OSPF を参照
- OSPF
  - エリア概念 1-11
  - 説明 1-11
- P
- PACL、アクセス グループ モードとの併用 42-35
- PAgP
  - 概要 20-4
- PBR (ポリシーベース ルーティング)
  - イネーブル化 32-4
  - 概要 32-2
  - 機能 32-2
  - 使用 32-3
  - 設定 (例) 32-6
  - ルート マップ 32-2
- PE から CE のルーティング、設定 33-7
- PE デバイス 33-2
- per-Port per-VLAN QoS
  - イネーブル化 34-52
  - 概要 34-17
- Per-VLAN Rapid Spanning-Tree 17-7
  - イネーブル化 17-22
  - 概要 17-7
- PIM
  - 概要 31-3
  - 希薄 / 稠密モードのイネーブル化 31-16
  - 希薄モードの設定 31-16
  - 稠密モードの設定 31-15
  - 情報の表示 31-17
  - 統計情報の表示 31-22
- PIM-DM 31-4
- PIM-SM 31-4
- ping
  - 概要 7-9
  - 実行 7-9
- ping コマンド 7-9, 31-17
- PoE
  - E シリーズでの拡張サポート 11-15
  - インターフェイス ステータスの表示 11-9
  - 受電装置の電力消費量
    - インテリジェントな電源管理 11-5
    - 概要 11-6
    - サポートされているケーブル接続トポロジ  
11-8
  - スイッチの電力消費量の設定 11-6
  - 単一デバイスの電力消費量の設定 11-6
  - 電源管理モード 11-3
  - モジュールで消費される PoE の表示 11-11
  - モジュールの電源切断 10-20
- police コマンド 34-40
- policy-map コマンド 34-36, 34-38
- Port Aggregation Protocol
  - PAgP を参照
- port-channel load-balance
  - コマンド 20-13
  - コマンド例 20-13

- port-channel load-balance コマンド 20-14
- PortFast
  - BPDU フィルタ、設定 19-11
  - MST 17-26
  - 概要 19-7
  - 設定またはイネーブル化 19-19
- PortFast BPDU フィルタリング
  - MST 17-26
  - イネーブル化 19-11
  - 概要 19-10
- power dc input コマンド 10-17
- power inline consumption コマンド 11-6, 11-7
- power inline コマンド 11-4
- power redundancy-mode コマンド 10-11
- PVACL 40-19
- PVID (ポート VLAN ID)
  - 音声 VLAN ポートを使用した 802.1X 37-19
- PVLAN
  - 802.1Q サポート 36-12
  - VLAN の設定 36-13
  - 概要 36-1
  - 混合モード ポートの設定 36-15
  - 設定 36-10
    - インターフェイス モード 36-22
  - 設定時の注意事項 36-11
  - 複数のスイッチ 36-5
  - ポートセキュリティを設定 38-16, 38-18, 38-20
  - ホスト ポート
    - 設定 36-22
    - レイヤ 2 インターフェイスの設定 36-16
  - 無差別モード
    - 設定 36-22
  - ルーティングの許可、例 36-21
  - レイヤ 2 EtherChannel でのポートセキュリティの  
設定 38-37
  - ワイヤレス環境でポートセキュリティを設定  
38-36
- PVLAN 混合モード トランク ポート
  - 設定 36-2, 36-15, 36-19
- Q
- QoS
  - Auto-QoS
    - NVRAM 設定の影響 34-20
    - VoIP に対するイネーブル化 34-21
  - 設定およびデフォルトの表示 34-22
  - 設定時の注意事項 34-21
  - 説明 34-19
  - 表示 34-22
- CoS、DSCP 値、送信キューも参照
- IP Phone
  - 検出および trusted 設定 34-19, 34-28
  - 自動分類およびキューイング 34-19
- PVQoS のイネーブル化 34-52
- PVQoS の概要 34-17
- UBRL の設定 34-45
- VLAN ベース 34-55
- イネーブル化およびディセーブル化 34-55
- インターフェイス上でのイネーブル化 34-43
- インターフェイス上でのディセーブル化  
34-43
- 階層型ポリサーのイネーブル化 34-50
- 概要 34-2
- 基本モデル 34-6
- 信頼状態
  - 信頼できるデバイス 34-28
- 設定
  - Auto-QoS 34-19
  - DBL 34-29
  - DSCP マップ 34-61
  - 信頼境界 34-28
  - トラフィック シェーピング 34-60
- 設定時の注意事項 34-27
  - Auto-QoS 34-21
- 送信レート 34-60
- ソフトウェア処理されるパケット 34-17
- 帯域幅の割り当て 34-60
- 定義 34-4
- デフォルト設定 34-26
- デフォルトの自動設定 34-19
- トラフィック シェーピング 34-17
- 名前付き集約ポリサーの作成 34-33
- バースト サイズ 34-34
- パケットの変更 34-17
- プライオリティ 34-16
- フローチャート 34-8, 34-13
- 分類 34-7?34-10
- ポートベース 34-55
- ポリシング ルールの作成 34-35
- レイヤ 2 インターフェイス上での VLAN ベースの  
設定 34-55

- レイヤ 2 制御パケット QoS の設定、概要 34-64
- レイヤ 2 制御パケット QoS の設定、機能の相互作用 34-69
- レイヤ 2 制御パケット QoS の設定、注意事項 34-68
- QoS アクティブ キュー管理
  - キュー長の追跡 34-15
- QoS サービス ポリシー
  - 前提条件 34-75
  - 適用に関する制約事項 34-75
- QoS の信頼境界 34-28
- QoS の送信キュー
  - DHCP 値のマッピング 34-59
  - 概要 34-15
  - 最大速度 34-17
  - 帯域幅の割り当て 34-60
  - トラフィック シェーピングの設定 34-60
  - バースト 34-17
  - リンク帯域幅の共有 34-16
- QoS の送信キュー、設定 34-59
- QoS のマーキング
  - 説明 34-5
- QoS のマッピング テーブル
  - CoS/DSCP 34-61
  - DSCP/CoS 34-63
  - タイプ 34-15
  - ポリシング済み DSCP 34-62
- QoS ポリサー
  - 種類 34-10
  - バースト サイズ 34-34
- QoS ポリシー
  - インターフェイスへの付加 34-12
  - 設定の概要 34-35
- QoS ポリシング
  - 説明 34-6, 34-10
  - 定義 34-5
- QoS ラベル
  - 定義 34-4
- R
- RADIUS サーバ
  - スイッチ上のパラメータ 37-26
  - スイッチとの通信設定 37-26
  - 設定値の設定 37-28
- range macro
  - 定義 6-7
- range コマンド 6-5
- Rapid Spanning-Tree
  - RSTP を参照
- rcommand コマンド 12-14
- Release 7.7 の新しいソフトウェア機能
  - TDR 7-5
- reload コマンド 3-30, 3-31
- REP
  - MST 18-6
  - SNMP トラップ、設定 18-14
  - VLAN ブロッキング 18-13
  - VLAN ロード バランシング 18-4
  - VLAN ロード バランシングのトリガー 18-5
  - インターフェイスの設定 18-9
  - オープンセグメント 18-2
  - 管理 VLAN 18-8
  - 管理 VLAN、設定 18-8
  - コンバージェンス 18-4
  - サポートされているインターフェイス 18-2
  - 手動によるプリエンブション、設定 18-13
  - セカンダリ エッジポート 18-4
  - セグメント 18-2
    - 特性 18-3
  - 設定時の注意事項 18-7
  - デフォルト設定 18-7
  - ネイバー オフセット番号 18-4
  - プライマリ エッジポート 18-4
  - プリエンブト遅延時間 18-5
  - ポート 18-6
  - モニタリング 18-15
  - リングセグメント 18-2
  - リンク完全性の確認 18-3
- reset コマンド 53-3
- Resilient Ethernet Protocol。REP を参照
- RFC
  - 1157、SNMPv1 47-2
  - 1901、SNMPv2C 47-2
  - 1305、NTP 4-2
  - 1757、RMON 49-3
  - 1902 ~ 1907、SNMPv2 47-2
  - 2273 ~ 2275、SNMPv3 47-2
- RIP
  - 説明 1-11

## RMON

- アラームとイベントのイネーブル化 49-4
- 概要 49-2
- サポートされるグループ 49-3
- ステータスの表示 49-7
- デフォルト設定 49-4

## ROM モニタ

- CLI 2-9
- 概要 53-1
- コマンド 53-2?53-3
- 終了 53-7
- 設置 53-2
- デバッグ コマンド 53-7
- ブートプロセス 3-27

## route-map (IP) コマンド 32-4

## Routing Information Protocol

- RIP を参照

## RPF

- IP ユニキャストを参照

## RSPAN

- IDS 45-3
- VLAN ベース 45-6
- 宛先ポート 45-5
- 受信したトラフィック 45-4
- セッション
  - VLAN のモニタリング 45-26
  - 作成 45-21
  - 送信元 (モニタ対象) ポートの削除 45-25
  - 定義 45-3
  - 特定の VLAN に送信元トラフィックを制限 45-28
  - モニタ対象ポートの指定 45-21
- 設定時の注意事項 45-20
- 送信されたトラフィック 45-4
- 送信元ポート 45-5
- モニタ対象ポート 45-5
- モニタリング ポート 45-5

## RSTP

- 互換性 17-26
- 説明 17-25
- ポート ステート 17-27
- ポートの役割 17-27

## S

## SAID

- 802.10 SAID を参照

## Security Association Identifier

- 802.10 SAID を参照

- service-policy input コマンド 30-2, 34-43
- service-policy コマンド 34-36
- set default interface コマンド 32-4, 32-5
- set interface コマンド 32-4
- set ip default next-hop コマンド 32-4
- set ip next-hop コマンド 32-4
- set-request 動作 47-5
- show adjacency コマンド 28-10
- show boot コマンド 3-33
- show catalyst4000 chassis-mac-address コマンド 17-3
- show cdp entry コマンド 24-4
- show cdp interface コマンド 24-3
- show cdp neighbors コマンド 24-4
- show cdp traffic コマンド 24-4
- show cdp コマンド 24-2, 24-4
- show ciscoview package コマンド 4-34
- show ciscoview version コマンド 4-34
- show cluster members コマンド 12-14
- show configuration コマンド 6-18
- show debugging コマンド 24-4
- show environment コマンド 10-2
- show history コマンド 2-4
- show interfaces status コマンド 7-3
- show interfaces コマンド 6-25, 6-26, 6-31, 6-33, 6-34
- show ip cache flow aggregation destination-prefix コマンド 48-12
- show ip cache flow aggregation prefix コマンド 48-12
- show ip cache flow aggregation source-prefix コマンド 48-12
- show ip cache flow コマンド 48-10
- show ip cef コマンド 28-8
- show ip eigrp interfaces コマンド 27-21
- show ip eigrp neighbors コマンド 27-21
- show ip eigrp topology コマンド 27-21
- show ip eigrp traffic コマンド 27-21
- show ip interface コマンド 31-17
- show ip local policy コマンド 32-5
- show ip mroute コマンド 31-17
- show ip pim interface コマンド 31-17
- show l2protocol コマンド 23-13
- show lldp traffic コマンド 25-9

- show mac-address-table address コマンド 7-4
- show mac-address-table interface コマンド 7-4
- show mls entry コマンド 28-9
- show module コマンド 7-2, 17-6
- show power inline consumption コマンド 11-6
- show power inline コマンド 11-9
- show power supplies コマンド 10-11
- show protocols コマンド 6-31
- show running-config コマンド
  - ACL の表示 42-25, 42-28, 42-35, 42-36
  - インターフェイスの記述の追加 6-18
  - 設定の確認 3-10
- show startup-config コマンド 3-11
- show users コマンド 7-8
- show version コマンド 3-31
- shutdown、コマンド 6-32
- Single Spanning-Tree
  - SST を参照
- SmartPort マクロ
  - Web サイト 16-2
  - グローバルパラメータ値の適用 16-9
  - 作成 16-8
  - 設定 16-3
  - 設定時の注意事項 16-6
  - 定義 16-2
  - デフォルト設定 16-4
  - トレース 16-7
  - パラメータ値の適用 16-9
  - 表示 16-15
  - マクロの適用 16-9
- SNMP
  - MIB 変数にアクセス 47-5
  - TFTP サーバによるアクセスの限定 47-15
  - イネーブル化 52-5
  - インフォーム
    - inform および trap キーワード 47-11
    - イネーブル化 47-15
    - 説明 47-5
    - トラップとの違い 47-5
  - エージェント
    - 説明 47-4
    - ディセーブル化 47-7
  - エンジン ID 47-6
  - 概要 47-2, 47-5
  - グループ 47-6, 47-9
  - コミュニティストリング
    - 概要 47-4
    - 設定 47-7
  - サポートされるバージョン 47-2
  - システムログメッセージを NMS に限定 46-10
  - システムの連絡先と設置場所 47-15
  - ステータス、表示 47-18
  - 設定時の注意事項 47-6
  - 設定例 47-16
  - 通知 47-5
  - デフォルト設定 47-6
  - トラップ
    - MAC アドレス通知のイネーブル化 4-22
    - MAC 移動通知のイネーブル化 4-25
    - MAC しきい値通知のイネーブル化 4-26
    - イネーブル化 47-11
    - 概要 47-2, 47-5
    - 種類 47-11
    - 情報との違い 47-5
    - 説明 47-4, 47-5
    - トラップ マネージャ、設定 47-13
    - 認証レベル 47-10
    - ホスト 47-6
    - マネージャ機能 47-4
    - ユーザ 47-6, 47-9
- SNMP コマンド 52-5
- SNMP トラップ
  - REP 18-14
- SNMP のイネーブル化 52-5
- SNMPv1 47-3
- SNMPv2C 47-3
- SNMPv3 47-3
- SPAN
  - ACL 45-6
  - IDS 45-3
  - VLAN ベース 45-6
  - 宛先ポート 45-5
  - 受信したトラフィック 45-4
  - セッション
    - 定義 45-3
    - 設定 45-8?45-11
    - 設定時の注意事項 45-8
    - 送信されたトラフィック 45-4
    - 送信元ポート 45-5
    - モニタ対象ポート、定義 45-5
    - モニタリングポート、定義 45-5

- SPAN 拡張機能
  - CPU ポートのスニッフィング 45-12
  - アクセスリスト フィルタリング 45-16
  - カプセル化の設定 45-14
  - 設定例 45-19
  - 入力パケット 45-14
  - パケット タイプ フィルタリング 45-18
- SPAN と RSPAN
  - 概念と用語 45-3
  - 概要 45-2
  - ステータスの表示 45-30
  - セッション限度 45-6
  - デフォルト設定 45-7
- spanning-tree backbonefast コマンド 19-19
- spanning-tree cost コマンド 17-18
- spanning-tree guard root コマンド 19-3
- spanning-tree portfast bpduguard コマンド 19-9
- spanning-tree portfast コマンド 19-8
- spanning-tree port-priority コマンド 17-15
- spanning-tree uplinkfast コマンド 19-14
- spanning-tree vlan
  - コマンド 17-10
  - コマンド例 17-11
- spanning-tree vlan cost コマンド 17-18
- spanning-tree vlan forward-time コマンド 17-21
- spanning-tree vlan hello-time コマンド 17-20
- spanning-tree vlan max-age コマンド 17-21
- spanning-tree vlan port-priority コマンド 17-15
- spanning-tree vlan priority コマンド 17-19
- spanning-tree vlan root primary コマンド 17-12
- spanning-tree vlan root secondary コマンド 17-14
- spanning-tree vlan コマンド 17-9
- speed コマンド 6-16
- SSO
  - 設定 9-11
- SSO の動作 9-5
- SST
  - インターオペラビリティ 17-28
  - 説明 17-25
- STP
  - hello タイム 17-20
  - Per-VLAN Rapid Spanning-Tree 17-7
  - PVRST のイネーブル化 17-22
  - REP 18-6
  - イネーブル化 17-9
  - 概要 17-2, 17-3
  - 拡張システム ID のイネーブル化 17-10
  - 最大エージング タイム 17-20
  - 設定 17-9?17-22
  - ディセーブル化 17-22
  - デフォルト 17-8
  - 転送遅延時間 17-21
  - トポロジの作成 17-5
  - ブリッジ ID 17-2
  - ポート コスト 17-17
  - ポート プライオリティ 17-15
  - ルート ブリッジ 17-11
  - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 23-8
- Sup 6-E の TCAM プログラミングと ACL 42-16
- Supervisor Engine 6-E システムの緊急アラーム 10-3
- Supervisor Engine 6-E での QoS
  - DBL 経由の AQM 34-93
  - DBL 経由のアクティブ キュー管理 34-86, 34-93
  - MQC ベースの QoS の設定 34-72
  - アクション ドライバのマーキング 34-80
  - 階層型ポリシー 34-95
  - キュー制限 34-91
  - 共有 (帯域幅) 34-86
  - 共有 (帯域幅)、シェーピング、およびプライオリティ キュー 34-84
  - 高レベル モデル 34-73
  - サービス ポリシーの適用に関する制約事項 34-75
  - サービス ポリシーを適用するための前提条件 34-75
  - シェーピング 34-84
  - 設定 34-72
  - ソフトウェア QoS 34-98
  - トラフィック マーキング手順のフローチャート 34-80
  - ネットワーク トラフィックのマーキング 34-77
  - プライオリティ キュー 34-89
  - プラットフォーム ハードウェアの機能 34-75
  - プラットフォームでサポートされる分類基準および QoS 機能 34-72, 34-74
  - プラットフォームの制約事項 34-77
  - 分類 34-75
  - ポリシー マップ マーキング アクションの設定 34-82
  - ポリシーの関連付け 34-97
  - ポリシング 34-76
  - ポリシングの実装方法 34-77

- マーキング用のハードウェア機能 34-82
  - マルチ属性マーキングのサポート 34-81
  - Supervisor Engine II-TS
    - 不十分なインラインパワーの処理 10-18, 11-14
  - Supervisor Engine II-TS に対する電力処理 11-14
  - Supervisor Engine II-TS に対する不十分なインラインパワーの処理 10-18
  - Supervisor Engine V-10GE の POST 50-9
  - SVI 自動ステート除外
    - 概要 27-3
    - 設定 27-9
  - switchport access vlan コマンド 15-8, 15-10
  - switchport block multicast コマンド 43-2
  - switchport block unicast コマンド 43-2
  - switchport mode access コマンド 15-10
  - switchport mode dot1q-tunnel コマンド 23-6
  - switchport mode dynamic コマンド 15-7
  - switchport mode trunk コマンド 15-7
  - switchport trunk allowed vlan コマンド 15-8
  - switchport trunk encapsulation dot1q コマンド 15-4
  - switchport trunk encapsulation isl コマンド 15-4
  - switchport trunk encapsulation negotiate コマンド 15-4
  - switchport trunk encapsulation コマンド 15-7
  - switchport trunk native vlan コマンド 15-8
  - switchport trunk pruning vlan コマンド 15-8
  - sysret コマンド 53-7
- T**
- TACACS+ 39-1
    - アカウントティング、定義 3-17
    - 概要 3-16
    - サーバの特定 3-19
    - 設定
      - アカウントティング 3-23
      - 認可 3-22
      - 認証キー 3-19
      - ログイン認証 3-20
    - 設定の表示 3-23
    - デフォルト設定 3-19
    - 動作 3-18
    - 認可、定義 3-17
    - 認証、定義 3-17
    - ユーザがアクセスしたサービスの追跡 3-23
    - ユーザへのサービスの制限 3-22
  - TCAM プログラミング アルゴリズム
    - 変更 42-9
  - TCAM プログラミング アルゴリズム、概要 42-8
  - TCAM プログラミング および ACL 42-11, 42-13
    - Sup II-Plus から V-10GE 42-7
  - TCAM リージョン、アルゴリズムの変更 42-9
  - TCAM リージョン、サイズ変更 42-11
  - TCN 処理
    - MLD スヌーピング
      - TCN 処理 22-5
  - TDR
    - ケーブル接続の確認 7-5
    - 注意事項 7-5
    - テストのイネーブル化およびディセーブル化 7-5
  - Telnet
    - CLI アクセス 2-2
    - 実行 7-7
    - ユーザセッションの切断 7-8
    - ユーザセッションのモニタリング 7-8
  - telnet コマンド 7-7
  - Terminal Access Controller Access Control System Plus
    - TACACS+ を参照
  - TFTP
    - サーバによるアクセスの限定 47-15
    - 自動設定の設定 3-5
    - ベース ディレクトリのコンフィギュレーション ファイル 3-5
  - TFTP ダウンロード
    - コンソール ダウンロードも参照
  - Time Domain Reflectometer
    - TDR を参照
  - Time-Exceeded メッセージ 7-10
  - TLV
    - LLDP-MED 25-2
    - 定義 1-3, 25-2
  - ToS
    - 説明 34-4
  - trace コマンド 7-10
  - traceroute
    - IP traceroute を参照
    - レイヤ 2 traceroute を参照
  - traceroute mac ip コマンド 7-12
  - traceroute mac コマンド 7-12
  - TwinGig コンバータ
    - X2/TwinGig コンバータ モードの選択 6-11
    - 使用時の制限事項 6-11



- ポート番号設定 6-10
  - TwinGig コンバータ使用時の制限事項 6-11
  - TwinGig コンバータによるポート番号設定 6-10
- ## U
- UDLD
    - イネーブル化 26-3
    - 概要 26-2
    - ディセーブル化 26-4
    - デフォルト設定 26-3
  - UniDirectional Link Detection Protocol
    - UDLD を参照
  - UNIX Syslog サーバ
    - サポートされるファシリティ 46-13
    - デーモンの設定 46-11
    - メッセージロギング情報 46-12
  - UplinkFast
    - MST 17-26
    - イネーブル化 19-19
    - 概要 19-13
  - User Based Rate Limiting
    - 概要 34-45
    - 設定 34-46
- ## V
- VACL
    - レイヤ 4 ポート演算 42-16
  - VLAN
    - ID (デフォルト) 13-5
    - PVLAN も参照
    - RSPAN による送信元トラフィックの制限 45-28
    - RSPAN によるモニタ 45-26
    - インターフェイスの割り当て 13-8
    - 概要 13-2
    - 拡張範囲 13-4
    - サービスプロバイダー ネットワークのカスタマー番号 23-3
    - 設定 13-6
    - 設定時の注意事項 13-4
    - 説明 1-6
    - デフォルト設定 13-5
    - トランク上で許容 15-8
    - 名前 (デフォルト) 13-5
    - 標準範囲 13-4
    - 予約範囲 13-4
  - VLAN ACL
    - VLAN マップを参照
    - vlan dot1q tag native コマンド 23-4
    - VLAN ID、検出 4-31
    - VLAN Trunking Protocol
      - VTP を参照
    - vlan コマンド 13-7
    - VLAN トランク
      - 概要 15-3
    - VLAN ブロッキング、REP 18-13
    - VLAN マップ
      - VLAN への適用 42-28
      - アクセス拒否の例 42-30
      - エントリの作成および削除 42-25
      - エントリの順序 42-25
      - 使用 (図) 42-5
      - 設定 42-24
      - 設定時の注意事項 42-25
      - 設定例 42-29
      - 定義 42-3
      - ネットワークの使用 42-28
      - パケットの許可 42-26
      - パケットの拒否 42-26
      - 表示 42-31
      - ルータ ACL 42-32
    - VLAN マップおよびルータ ACL との PACL 42-38
    - VLAN マップの設定 42-24
    - VLAN マップ、PACL およびルータ ACL 42-38
    - VLAN メンバシップ ポリシー サーバ
      - VMPS を参照
    - VLAN ロード バランシング
      - REP 18-4
    - VLAN ロード バランシング、トリガー 18-5
    - VMPS
      - クライアントでのダイナミック アクセス ポート の設定 13-24
      - コンフィギュレーション ファイルの例 13-31
      - サーバの概要 13-19
      - 再試行間隔の設定 13-25
      - ダイナミック ポート メンバシップ
        - 再確認 13-24, 13-25
        - 例 13-27
      - データベース コンフィギュレーション ファイル 13-31
      - メンバシップの再確認間隔 13-25

- 割り当ての再確認 13-24
  - VMPS クライアント
    - 管理およびモニタリング 13-26
    - スイッチの設定
      - IP VMPS アドレスの入力 13-23
      - VLAN メンバシップの再確認 13-24
      - 再確認間隔 13-25
      - 再確認間隔の設定 13-25
      - ダイナミック ポート 13-24
    - ダイナミック VLAN メンバシップの概要 13-22
    - ダイナミック ポート VLAN メンバシップのトラブルシューティング 13-27
    - デフォルト設定 13-22
  - VMPS サーバ
    - 概要 13-19
    - セキュリティ モード
      - multiple 13-21
      - open 13-20
      - セキュア 13-20
    - 代替 VLAN 13-21
    - 不正な VMPS クライアント要求 13-21
  - Voice over IP
    - 設定 35-2
  - VPN
    - サービス プロバイダー ネットワーク内 33-1
    - 転送 33-3
    - ルーティング / 転送テーブル
      - VRF を参照
    - ルーティングの設定 33-6
    - ルート 33-2
  - VRF
    - 定義 33-3
    - テーブル 33-1
  - VTP
    - VTP バージョン 2 も参照
    - 概要 13-9
    - 設定 13-14?13-18
    - 設定時の注意事項 13-13
    - ディセーブル化 13-17
    - デフォルト設定 13-13
    - トランスペアレント モードの設定 13-17
    - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 23-8
  - VTP アドバタイズ
    - 説明 13-10
  - VTP クライアント
    - 設定 13-16
  - VTP サーバ
    - 設定 13-15
  - VTP 統計情報
    - 表示 13-18
  - VTP ドメイン
    - 説明 13-9
  - VTP バージョン 2
    - VTP も参照
    - イネーブル化 13-15
    - 概要 13-11
  - VTP プルーニング
    - イネーブル化 13-14
    - 概要 13-11
  - VTP モード 13-10
  - VTY と Network Assistant 12-13
  - VVID (音声 VLAN ID)
    - 802.1X 認証 37-19
    - 設定 35-5
- ## W
- WCCP
    - 機能 51-4
    - サービス グループ 51-7
    - 制約事項 51-6
    - 設定例 51-11
    - ルータに設定 51-2, 51-12
  - Web Cache Communication Protocol
    - WCCP を参照 51-1
  - WoL
    - 802.1X による設定 37-40
- ## X
- X2/TwinGig コンバータ モードの選択 6-11
- ## あ
- アカウンティング
    - 802.1X の設定 37-32
    - TACACS+ 3-17, 3-23
  - アクション ドライバのマーキング 34-80
  - アクション ドライバ、マーキング 34-80
  - アクセス VLAN 15-8
  - アクセス グループ モードの PACL との併用 42-35

- アクセス グループ モード、PACL との併用 42-35
  - アクセス グループ モード、レイヤ 2 インターフェイス上での設定 42-36
  - アクセス コントロール エントリ
    - ACE を参照
  - アクセス コントロール エントリとリスト 39-1
  - アクセス ポート
    - 設定 15-10
    - ポート セキュリティを設定 38-8, 38-25
    - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 23-10
  - アクセス リスト
    - WCCP での使用 51-9
  - アクセス リスト フィルタリング 拡張機能 45-16
  - アクセスの制限
    - NTP サービス 4-8
    - TACACS+ 3-16
  - アクティブ キュー管理 34-15
  - アドバタイズメント
    - LLDP 1-3, 25-2
  - アドバタイズ、VTP
    - VTP アドバタイズを参照
  - アドレス
    - MAC アドレス テーブルの表示 4-30
    - MAC アドレスを参照
    - MAC、検出 4-31
      - スタティック
        - 追加および削除 4-27
        - 定義 4-20
      - ダイナミック
        - エージング タイムの変更 4-21
        - 学習 4-20
        - 削除 4-22
        - 定義 4-20
  - アドレス解決 4-31
- い**
- イネーブル
    - 終了 3-25
    - デフォルトの変更 3-25
    - レベルの設定 3-24
    - ログイン 3-25
  - イネーブル モード 2-6
  - インターフェイス
    - 概要 6-2
    - カウンタのクリア 6-31
  - 記述名の追加 6-18
  - 再起動 6-32
  - 情報の表示 6-31
  - 設定 6-3
  - 範囲設定 6-5
  - 番号 6-2
  - 命名 6-18
  - メンテナンス 6-31
  - モニタリング 6-31
  - レイヤ 2 インターフェイスも参照
  - レイヤ 2 モード 15-4
- インターフェイス コンフィギュレーション
- REP 18-9
- インターフェイス リンクおよびトランク ステータス イベント
- 設定 6-33
- インターフェイス リンクおよびトランク ステータス イベントの設定 6-33
- インターフェイス上での QoS のイネーブル化またはディセーブル化 34-55
- インターフェイスの信頼状態、設定
- インターフェイスのデフォルト設定へのリセット 6-35
- インターフェイスの範囲
- 設定 6-5
- インテリジェントな電源管理 11-5
- インライン パワー
- Cisco IP Phone での設定 35-7

- お
- オプション 82
    - DHCP スヌーピングのイネーブル化 40-11
  - オペレーティング システム イメージ
    - システム イメージを参照
  - 音声 VLAN
    - IP Phone の音声トラフィック、説明 35-2
    - IP Phone のデータトラフィック、説明 35-3
  - 音声 VLAN ポート
    - 802.1X を使用する 37-19
  - 音声インターフェイス
    - 設定 35-1
  - 音声トラフィック 11-2, 35-7
  - 音声ポート
    - VVID の設定 35-5
  - オンライン診断 50-1
- か
- 階層型ポリサー、設定 34-50
  - 階層型ポリシー、Supervisor Engine 6-E での QoS 34-95
  - カウンタ
    - MFIB の削除 31-23
    - インターフェイスのクリア 6-31
  - 拡張範囲 VLAN
    - VLAN を参照
  - 仮想 LAN
    - VLAN を参照
  - 仮想コンフィギュレーション レジスタ 53-4
  - カプセル化タイプ 15-4
  - 簡易ネットワーク管理プロトコル
    - SNMP を参照
  - 環境状態
    - Supervisor Engine 6-E 10-3
    - Supervisor Engine II-Plus から V-10GE 10-2
  - 環境のモニタリング
    - CLI コマンドの使用 10-2
  - 管理 VLAN
    - REP、設定 18-8
  - 管理 VLAN、REP 18-8
  - 管理アドレス TLV 25-2
  - 管理オプション
    - SNMP 47-2
- き
- キーボードショートカット 2-4
  - ギガビットイーサネット SFP ポート
    - 10 ギガビットイーサネットの配置 6-8
  - 擬似ブリッジ
    - 説明 17-28
  - キャッシュ エンジン 51-1
  - キャッシュ エンジン クラスタ 51-1
  - キャッシュ ファーム
    - キャッシュ エンジン クラスタを参照
  - キューイング 34-6, 34-15
  - キュー制限、Supervisor Engine 6-E での QoS 34-91
  - 境界ポート
    - 説明 17-30
  - 共有（帯域幅）、Supervisor Engine 6-E での QoS 34-86
  - 許可ステートおよび無許可ステートのポート 37-5
- く
- 組み込み CiscoView
    - インストールおよび設定 4-32
    - 概要 4-31
    - 情報の表示 4-34
  - クライアント
    - 802.1X 認証 37-3
  - クライアントの再認証
    - 手動による設定 37-49
    - 定期的なイネーブル化 37-44
  - クラスタリング スイッチ
    - 概要 12-12
    - 管理
      - CLI を使用した 12-14
    - 計画の考慮事項
      - CLI 12-14
      - パスワード 12-8
    - コマンドスイッチの特性 12-12, 12-13
      - VTY 12-13
    - コミュニティへの変換 12-10
  - クラスレベル、サービス ポリシー内の設定 34-91
  - クリティカル認証
    - 802.1X による設定 37-37
  - グローバル コンフィギュレーション モード 2-6
  - クロック
    - システム クロックを参照

- け
- ゲートウェイ
    - デフォルト ゲートウェイを参照
  - ゲスト VLAN
    - 802.1X による設定 37-33, 37-43
  - 検出、クラスタ
    - 自動検出を参照
- こ
- 高速ドロップ
    - エントリの削除 31-23
    - エントリの表示 31-22
    - 概要 31-11
  - 候補
    - 自動検出 12-7
  - 候補スイッチ、クラスタ
    - 定義 12-13
    - 要件 12-13
  - コマンド
    - b 53-3
    - b flash 53-3
    - confreg 53-4
    - dev 53-3
    - dir device 53-3
    - frame 53-7
    - i 53-3
    - meminfo 53-7
    - reset 53-3
    - ROM モニタ 53-2?53-3
    - ROM モニタのデバッグ 53-7
    - SNMP 52-5
    - sysret 53-7
    - ブート 53-3
    - リスト 2-7
  - コマンドスイッチ、クラスタ
    - 要件 12-12
  - コマンドモード 2-6
  - コマンドの省略 2-6
  - コマンドライン処理 2-4
  - コミュニティ VLAN 36-3, 36-4
    - PVLAN としての設定 36-13
    - SPAN 機能 36-11
  - コミュニティストリング
    - 概要 47-4
    - 設定 47-7
  - コミュニティポート 36-4
  - コミュニティへのメンバの追加 12-9
  - 混合モードポート
    - PVLAN の設定 36-15
    - 設定モード 36-22
    - 定義 36-5
  - コンソール コンフィギュレーション モード 2-6
  - コンソールダウンロード 53-6
  - コンソールポート
    - ユーザセッションの切断 7-8
    - ユーザセッションのモニタリング 7-8
  - コントロールプレーン ポリシング
    - CoPP も参照
  - コンバージェンス
    - REP 18-4
  - コンフィギュレーション ファイル
    - DHCP による入手 3-6
    - TFTP サーバアクセスを限定 47-15
    - システムの連絡先と設置場所の情報 47-15
    - 保存 3-10
  - コンフィギュレーション レジスタ
    - ROM モニタから変更 53-4
    - 起動時の設定 3-29
    - 設定 3-28
    - 設定の変更 3-30?3-31
    - ブート フィールド
      - 値の表示 3-31
      - 変更 3-30
  - コンポーネント管理 TLV 25-3, 25-7
- さ
- サーバ、VTP
    - VTP サーバを参照
  - サービス クラス
    - CoS を参照
  - サービス プロバイダー ネットワーク
    - カスタマー VLAN 23-2
  - サービス ポリシーでのクラスレベル キュー制限の設定 34-91
  - サービス ポリシー、クラスレベル キュー制限の設定 34-91
  - サービス品質
    - QoS を参照

- 再送信回数
  - 802.1X 認証の設定 37-48
- 再送信時間
  - 802.1X 認証の変更 37-47
- 最大エイジング タイム (STP)
  - 設定 17-20
- 削除
  - IP マルチキャスト テーブル エントリ 31-23
  - サブドメイン、プライベート VLAN 36-3
- し
- シェーピング、Supervisor Engine 6-E での QoS
  - 34-84
- 時間帯 4-12
- 時刻
  - NTP およびシステム クロックを参照
- システム
  - 起動時の設定 3-29
  - 設定の確認 3-11
- システム MTU
  - 802.1Q トンネリング 23-5
  - 最大許容システム 23-5
- システム アラーム
  - Supervisor 6-E 10-5
  - Supervisor Engine II-Plus から V-10GE 10-5
  - 概要 10-4
- システム イメージ
  - 指定 3-32
  - ブート フィールドの修正 3-29
  - フラッシュ メモリからの起動 3-32
- システム クロック
  - NTP も参照
  - 概要 4-2
  - 設定
    - 時間帯 4-12
    - 手動での設定 4-11
    - 夏時間 4-13
    - 日時の表示 4-12
- システム プロンプト、デフォルト設定 4-15
- システム メッセージ ログギング
  - UNIX Syslog サーバ
    - サポートされるファシリティ 46-13
    - デーモンの設定 46-11
    - ログギング ファシリティの設定 46-12
  - イネーブル化 46-5
- エラー メッセージの重大度の定義 46-9
- 概要 46-2
- シーケンス番号、イネーブル化およびディセーブル化 46-8
- 設定の表示 46-13
- タイムスタンプ、イネーブル化およびディセーブル化 46-8
- ディセーブル化 46-4
- デフォルト設定 46-4
- 表示先装置の設定 46-5
- ファシリティ キーワード、説明 46-13
- メッセージの形式 46-3
- メッセージの制限 46-10
- レベル キーワード、説明 46-10
- ログ メッセージの同期化 46-6
- システム機能 TLV 25-2
- システム説明 TLV 25-2
- システム名
  - DNS も参照
  - 手動の設定 4-15
  - デフォルト設定 4-15
- システム名 TLV 25-2
- 自動検出
  - 考慮事項 12-7
- 自動設定 3-2
- 自動ネゴシエーション機能
  - 強制 10/100 Mbps 6-15
- シャットダウン
  - インターフェイス 6-32
- ジャンボ フレーム
  - MTU サイズの設定 6-25
  - MTU の概要 6-23
  - VLAN インターフェイス 6-24
  - イーサネット ポート 6-24
  - サポートするポートおよびラインカード 6-22
  - サポートの概要 6-23
- 重大度、システム メッセージに定義 46-9
- 集約スイッチ、DHCP スヌーピングのイネーブル化 40-11
- 手動によるプリエンブション、REP、設定 18-13
- 冗長性
  - NSF 対応サポート 9-2
  - NSF 認識サポート 9-2
  - 概要 8-2
  - 冗長コマンド 8-8
  - 設定 8-8
  - 注意事項および制約事項 8-6

- SNMP による変更 8-12
  - 同期化の概要 8-5
  - 冗長性 (NSF) 9-1
    - 設定
      - BGP 9-13
      - CEF 9-12
      - EIGRP 9-18
      - IS-IS 9-15
      - OSPF 9-14
    - ルーティング プロトコル 9-6
  - 冗長性 (RPR)
    - 同期化 8-5
    - ルート プロセッサ冗長性 8-3
  - 冗長性 (SSO)
    - 冗長コマンド 9-11
    - 同期化 8-5
    - ルート プロセッサ冗長性 8-3
  - 診断
    - Supervisor Engine V-10GE の POST 50-9
      - オンライン 50-1
        - トラブルシューティング 50-2
      - 電源投入時自己診断テスト
        - 概要 50-3
        - 機能 50-4
        - 障害の原因 50-14
  - 侵入検知システム
    - IDS を参照
  - 信頼状態
    - 設定 34-56
  - 信頼できる時刻源、説明 4-2
- す**
- スイッチ ポート
    - アクセス ポートを参照
  - スイッチ /RADIUS サーバ通信
    - 設定 37-26
  - スイッチ間リンク カプセル化方式
    - ISL カプセル化を参照
  - スイッチド パケット
    - ACL 42-32
  - スイッチド ポート アナライザ
    - SPAN を参照
  - スイッチのコミュニティ
    - Network Assistant のアクセス モード 12-8
    - クラスタからの変換 12-10
    - 候補の特性 12-7
    - コミュニティ名 12-8
    - 設定情報 12-9
    - 通信プロトコル 12-8
    - デバイスの追加 12-9
    - パスワード 12-8
    - ホスト名 12-8
    - スイッチのデフォルトへのリセット 3-34
    - スイッチポート
      - show interfaces 6-25, 6-26, 6-33, 6-34
    - スイッチング、NetFlow
      - キャッシュ エントリのエクスポート 48-10
      - 収集のイネーブル化 48-8
      - スイッチド IP フローの設定 48-8
      - 設定 (例) 48-14
      - 必要なハードウェアの確認 48-7
    - スーパーバイザ エンジン
      - ROM モニタ 3-27
      - 環境のモニタリング 10-2
      - 冗長へのアクセス 8-17
      - 冗長性 9-1
      - スタートアップ コンフィギュレーション 3-27
      - スタティック ルート 3-12
      - スタンバイへのファイルのコピー 8-17
      - 設定 3-9?3-13
      - 設定の同期化 8-12
      - デフォルト ゲートウェイ 3-11
      - デフォルト設定 3-2
    - スケジューリング 34-15
      - 概要 34-6
      - 定義 34-5
    - スタティック アドレス
      - アドレスを参照
    - スタティック ホストの IP ポートセキュリティ
      - PVLAN ホスト ポート上 40-29
      - 概要 40-25
      - レイヤ 2 アクセス ポート上 40-26
    - スタティック ルート
      - 確認 3-13
      - 設定 3-12
    - スタブルーティング (EIGRP)
      - 概要 27-15, 27-16
      - 確認 27-20
      - 制約事項 27-20
      - 設定 27-16
      - 設定作業 27-20

- 利点 27-20
- スティッキ MAC アドレス
  - 設定 38-8
  - 定義 38-5
- スティッキ ラーニング
  - アドレスの保存 38-6
  - イネーブル化 38-6
  - コンフィギュレーション ファイル 38-6
  - 定義 38-6
  - ディセーブル化 38-6
- ストーム制御
  - 概要 44-2
  - ソフトウェアベース、実装 44-3
  - ハードウェアベース、実装 44-2
  - 表示 44-10
  - ブロードキャストのイネーブル化 44-4
  - マルチキャストのイネーブル化 44-6
- ストーム制御の表示 44-10
- ストラタム、NTP 4-2
- スロット番号、説明 6-2

## せ

- 制御パケットのキャプチャ
  - モードの選択 42-13
- 制御パケットのキャプチャのモード、選択 42-13
- セカンダリ VLAN 36-3
  - プライマリとの関連付け 36-14
  - ルーティングの許可 36-21
- セカンダリ エッジ ポート、REP 18-4
- セカンダリ ルート スイッチ 17-13
- セキュリティ
  - IP
    - DoS 攻撃 29-10
    - TCP SYN フラッディング攻撃 29-10
  - 設定 39-1
- 設定可能な Leave タイマー、IGMP 21-4
- 設定時の注意事項
  - REP 18-7
  - SNMP 47-6
- 設定例
  - SNMP 47-16

## そ

- 送信キュー
  - QoS の送信キューを参照
- 送信レート 34-60
- 即時脱退処理
  - IGMP
    - 即時脱退処理を参照
    - イネーブル化 21-8
- 即時脱退、IGMP
  - イネーブル化 22-10
- 速度
  - インターフェイスの設定 6-15
- ソフトウェア
  - アップグレード 8-15
- ソフトウェア QoS、Supervisor Engine 6-E で 34-98
- ソフトウェア コンフィギュレーション レジスタ 3-28
- ソフトウェア スイッチング
  - インターフェイス 28-6
  - 使用する主なデータ構造 31-8
  - 説明 28-5

## た

- ダイナミック ポート VLAN メンバシップ
  - 再確認 13-24, 13-25
  - トラブルシューティング 13-27
  - ホスト上の制限 13-27
  - 例 13-27
- タイプ オブ サービス
  - ToS を参照
- タイマー
  - ログイン タイマーを参照
- タグ付きパケット
  - 802.1Q 23-3
  - レイヤ 2 プロトコル 23-8
- 単一方向イーサネット
  - イネーブル化 30-2
  - 概要 30-2
  - 設定例 30-2
- 単一方向リンク検出 26-1



- ち
- 注意
- ユニキャスト RPF
    - オプションの BGP 属性 29-5
- て
- ディセーブル ステート
- RSTP の比較 (表) 17-27
- ディセーブル化
- ブロードキャスト ストーム制御 44-8
- データベース エージェント
- DHCP スヌーピングのイネーブル化 40-13
    - 設定例 40-14
- デバイス検出プロトコル 25-2
- デバッグ コマンド、ROM モニタ 53-7
- デフォルト ゲートウェイ
- 設定 3-11
  - 設定の確認 3-12
- デフォルト設定
- 802.1X 37-23
  - Auto-QoS 34-19
  - DNS 4-16
  - IGMP スヌーピング 22-6, 22-7
  - IGMP フィルタリング 21-20
  - LLDP 25-4
  - MAC アドレス テーブル 4-21
  - Multi-VRF CE 33-4
  - NTP 4-4
  - REP 18-7
  - RMON 49-4
  - SNMP 47-6
  - SPAN と RSPAN 45-7
  - TACACS+ 3-19
  - インターフェイスのリセット 6-35
  - システム メッセージ ロギング 46-4
  - システム名とプロンプト 4-15
  - バナー 4-18
  - プライベート VLAN 36-11
  - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 23-11
- デフォルト設定、erase コマンド 3-34
- デュプレックス モード
- インターフェイスの設定 6-15
- 電源管理
- Catalyst 4500 スイッチの電源装置 10-13
    - Catalyst 4500 シリーズ 10-6
    - Catalyst 4948 シリーズ 10-21
    - 概要 10-2
    - 冗長性 10-6
    - 冗長モードの設定 10-11
    - 複合モードの設定 10-12
  - 電源管理 TLV 25-3, 25-7
  - 電源管理モード
    - 選択 10-8
  - 電源管理モードの選択 10-8
  - 電源装置
    - Catalyst 4500 スイッチで利用可能な電力 10-13
    - 可変 10-7, 10-21
    - 固定 10-7
  - 電源投入時自己診断テスト診断 50-3, 50-14
- 転送情報ベース
- FIB を参照
- 転送遅延時間 (STP)
- 設定 17-21
- と
- 統計情報
- 802.1X の表示 37-51
  - LLDP 25-8
  - LLDP-MED 25-8
  - NetFlow 課金 48-10
  - PIM の表示 31-22
  - SNMP 入出力 47-18
- トークンリング
- サポートされていないメディア 13-6, 13-11
- 独立 VLAN 36-3, 36-4, 36-5
- 独立ポート 36-4
- 特権 EXEC モード 2-6
- ドメイン名
- DNS 4-16
- トラップ
- MAC アドレス通知の設定 4-22
  - MAC 移動通知の設定 4-25
  - MAC しきい値通知の設定 4-26
  - イネーブル化 4-22, 4-25, 4-26, 47-11
  - 概要 47-2, 47-5
  - 通知の種類 47-11
  - 定義 47-4
  - マネージャの設定 47-11

- トラフィック
    - フラッディングのブロック 43-2
  - トラフィック シューピング 34-17
  - トラフィック マーキング手順のフローチャート 34-80
  - トラフィックの制御
    - ACL の使用 (図) 42-4
    - VLAN マップの使用 (図) 42-5
  - トラブルシューティング
    - Cisco Works を使用 47-5
    - traceroute 7-10
    - システム メッセージ ロギングを使用 46-2
  - トランク
    - 802.1Q の制限事項 15-6
    - DTP をサポートしない装置のイネーブル化 15-5
    - アクセス VLAN の設定 15-8
    - インターフェイスのデフォルト設定 15-7
      - 概要 15-3
      - カプセル化 15-4
      - 許容される VLAN の設定 15-8
      - 異なる VTP ドメイン 15-4
      - 設定 15-7
      - ネイティブ VLAN の指定 15-8
  - トランク ポート
    - PVLAN の設定 36-17?36-19
    - ポートセキュリティを設定 38-19
  - トランスレーショナルブリッジ番号 (デフォルト) 13-5
  - トンネリング
    - 定義 23-1
  - トンネル ポート
    - 802.1Q、設定 23-6
    - 説明 23-2
    - 他の機能との互換性 23-5
- な**
- 夏時間 4-13
  - 名前付き IPv6 ACL の設定 42-22
  - 名前付き IPv6 ACL、設定 ACL
    - 名前付き IPv6 ACL の設定 42-22
  - 名前付き MAC 拡張 ACL
    - ACL
      - 名前付き MAC 拡張の設定 42-20
  - 名前付き MAC 拡張 ACL の設定 42-20
  - 名前付き集約ポリサー、作成 34-33
- に**
- 二重タグ付きパケット
    - 802.1Q トンネリング 23-2
    - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 23-10
  - 入力パケット、SPAN 拡張機能 45-14
  - 認可
    - TACACS+ 3-17, 3-22
  - 認証
    - NTP アソシエーション 4-4
    - TACACS+
      - キー 3-19
      - 定義 3-17
      - ログイン 3-20
    - ポートベースの認証も参照
  - 認証サーバ
    - RADIUS サーバ 37-3
    - 定義 37-3
  - 認証失敗 VLAN 割り当て
    - 802.1X による設定 37-41
  - 認証、認可、アカウントイング 39-1
- ね**
- ネイティブ VLAN
    - 802.1Q トンネリング 23-4
    - 指定 15-8
  - ネイバー オフセット番号、REP 18-4
  - ネットワーク トラフィックのマーキング 34-77
  - ネットワーク トラフィック、マーキング 34-77
  - ネットワーク ポリシー TLV 25-3, 25-7
  - ネットワーク管理
    - RMON 49-1
    - SNMP 47-1
    - 設定 24-1
  - ネットワーク耐障害性 1-3, 17-25
- は**
- バースト サイズ 34-34
  - バースト レート 34-60

## バーチャルプライベート ネットワーク

VPN を参照

ハードウェア スイッチング 28-5

ハードウェアおよびソフトウェア ACL のサポート  
42-6

## パケット

ソフトウェア処理

QoS 34-17

変更 34-17

パケット タイプ フィルタリング

SPAN 拡張機能 45-18

概要 45-18

パケットのブロック 43-2

## パスワード

暗号化 3-23

イネーブル シークレット パスワードの設定  
3-14

イネーブル パスワードの設定 3-14

イネーブル パスワードを忘れた場合の回復方法  
3-26

回線パスワードの設定 3-15

クラスタ内 12-8

パスワードに関する注意

暗号化 3-24

## バナー

設定

MoTD ログイン 4-18

ログイン 4-19

デフォルト設定 4-18

表示される場合 4-18

## パワー

インライン 35-7

## ひ

非 IPv4 トラフィックの一致 CoS

設定 34-38

非 RPF トラフィック

冗長構成 (図) 31-11

説明 31-10

光デジタル モニタ トランシーバのサポート 6-14

## ヒストリ

CLI 2-4

非対称リンクと 802.1Q トンネリング 23-4

標準範囲 VLAN

VLAN を参照

## ふ

## フィルタリング

IP 以外のトラフィック 42-20

VLAN 42-24

ブート コマンド 53-3

ブート フィールド

コンフィギュレーション レジスタ、ブート  
フィールドを参照

ブートストラップ プログラム

ROM モニタを参照

不揮発性ランダム アクセス メモリ

NVRAM を参照

複数ドメイン認証

MDA を参照

複数の VRF

Multi-VRF CE を参照

複数の転送パス 1-3, 17-25

複製

説明 31-9

物理レイヤ 3 インターフェイス、設定 27-14

プライオリティ

着信フレームの CoS の変更 35-7

プライオリティ キュー、Supervisor Engine 6-E での  
QoS 34-89

プライベート VLAN

DHCP スヌーピングのイネーブル化 40-13

SVI 36-9

コミュニティ VLAN 36-3, 36-4

コミュニティ ポート 36-4

混合モード ポート 36-5

サブドメイン 36-3

セカンダリ VLAN 36-3

端末アクセス 36-4

デフォルト設定 36-11

独立 VLAN 36-3, 36-4, 36-5

独立ポート 36-4

トラフィック 36-8

複数のスイッチ 36-5

プライマリ VLAN 36-3, 36-5

ポート

コミュニティ 36-4

混合モード 36-5

独立 36-4

ポート セキュリティを設定 38-16

利点 36-3

プライマリ VLAN 36-3, 36-5

- PVLAN としての設定 36-13
  - セカンダリ VLAN との関連付け 36-14
  - プライマリ エッジ ポート、REP 18-4
  - フラグ 31-12
  - フラッシュ メモリ
    - システム ソフトウェア イメージのロード 3-32
    - セキュリティ上の注意 3-32
    - ルータの起動元としての設定 3-32
  - フラッディングしたトラフィックをブロック 43-2
  - プリエンブト遅延時間、REP 18-5
  - ブリッジ ID
    - STP、ブリッジ ID を参照
  - ブリッジプライオリティ (STP) 17-19
  - ブリッジプロトコル データ ユニット
    - BPDU を参照
  - プルーニング、VTP
    - VTP プルーニングを参照
  - フロー制御の設定 6-18
  - フロー制御、設定 6-18
  - フローチャート、トラフィック マーキング手順 34-80
  - ブロードキャスト ストーム制御
    - イネーブル化 44-4
    - ディセーブル化 44-8
  - ブロッキング ステート (STP)
    - RSTP の比較 (表) 17-27
  - プロトコル タイマー 17-5
- へ
- 別の VLAN にあるサーバへのアクセスの拒否 42-30
  - ベビー ジャイアント
    - 対話 6-25
  - ベビー ジャイアント機能との対話 6-25
- ほ
- ポイントツーポイント
    - 802.1X 認証 (図) 37-3, 37-17
  - ポート
    - REP 18-6
    - インターフェイスも参照
    - ステータスの確認 7-3
    - ダイナミック VLAN メンバシップ
      - 再確認 13-24, 13-25
    - 例 13-27
    - 転送の再開 43-3
    - ブロック 43-2
  - ポート ACL
    - 音声 VLAN 42-5
    - 制限 42-5
    - 定義 42-3
  - ポート VLAN ID TLV 25-2
  - ポート コスト (STP)
    - 設定 17-17
  - ポート ステート
    - 説明 17-6
  - ポート セキュリティ
    - 802.1X 認証を使用 38-36
    - 802.1X を使用 37-15
    - DHCP と IP ソース ガードを使用 38-35
    - QoS 信頼境界 34-28
    - RADIUS アカウンティング 37-16
    - アクセス ポート上 38-8, 38-25
    - 違反 38-6
    - エージング 38-5
    - 音声ポート上 38-25
    - スティッキ ラーニング 38-6
    - 設定 38-8
    - 他の機能 38-38
    - 注意事項および制約事項 38-38
    - トランク ポート上 38-19
      - 注意事項および制約事項 38-16, 38-20, 38-23, 38-36
    - ポート モードの変更 38-24
  - 表示 38-31
  - プライベート VLAN 上 38-16
    - 混合モード 38-18
    - トポロジ 38-16, 38-20, 38-36
    - ホスト 38-16
    - レイヤ 2 EtherChannel 38-37
  - ポート プライオリティ
    - MSTI の設定 17-36
    - STP の設定 17-15
  - ポート ベースの QoS 機能
    - QoS を参照
  - ポート上の Auto-MDIX
    - 概要 6-27
    - 設定 6-28
    - 設定の表示 6-28
  - ポート説明 TLV 25-2

- ポートチャネルインターフェイス
    - EtherChannel も参照
    - 概要 20-2
    - 作成 20-7
  - ポートの信頼状態
    - 信頼状態を参照
  - ポートベースの認証
    - 802.1X アカウンティングの設定 37-32
    - MAC 認証バイパスによる 37-10
    - MAC 認証バイパスを使用した設定 37-36
    - VLAN 割り当て 37-7
    - WoL を使用した設定 37-40
    - イネーブル化 37-24
    - 音声 VLAN ポートを使用した 802.1X 37-19
    - 開始とメッセージ交換 37-4
    - カプセル化 37-3
    - 許可ステータスの制御 37-5
    - クライアント、定義 37-3
    - クリティカル認証による 37-12
    - クリティカル認証による設定 37-37
    - ゲスト VLAN に対する設定 37-33, 37-43
    - ゲスト VLAN による 37-9
    - ゲスト VLAN の設定 37-26
    - 再送信回数 の設定 37-48
    - 再送信時間 の設定 37-47
    - サポートされないポート 37-5
    - 手動によるクライアントの再認証の設定 37-49
    - スイッチ /RADIUS サーバ通信の設定 37-26
    - 設定
      - マルチドメイン認証 37-28
    - 設定時の注意事項 37-23
    - 説明 37-2
    - 装置の役割 37-3
    - 待機時間の変更 37-46
    - 定期的再認証のイネーブル化 37-44
    - デフォルト設定 37-23
    - デフォルト値へのリセット 37-50
    - 統計情報の表示 37-51
    - トポロジ、サポート対象 37-21
    - 認証失敗 VLAN 割り当てを使用した設定 37-41
    - 複数ドメイン認証 37-20
    - 複数ホストモード、説明 37-7
    - 複数ホストのイネーブル化 37-45
    - 方式リスト 37-24
  - ポートセキュリティ
    - 複数ホストモード 37-7
    - ポートセキュリティの使用 37-15
    - ホストモード 37-7
  - ホスト
    - ダイナミックポート上の制限 13-27
    - ホストを静的に設定 21-11
  - ホストポート
    - 種類 36-4
  - ホットスワップ
    - OIR を参照
  - ホップカウント
    - MST ブリッジの設定 17-31
  - ポリサー
    - 種類 34-10
    - 説明 34-6
  - ポリシー
    - QoS ポリシーを参照
    - ポリシー アソシエーション、Supervisor Engine 6-E での QoS 34-97
    - ポリシー マップ
      - インターフェイスへの付加 34-43
      - 設定 34-38
    - ポリシー マップ マーキング アクション、設定 34-82
  - ポリシング
    - QoS ポリシングを参照
    - 実装方法 34-77
  - ポリシング済み DSCP マップ 34-62
- ## ま
- マーキング
    - ハードウェア機能 34-82
  - マーキングのサポート、マルチ属性 34-81
  - マクロ
    - SmartPort マクロを参照
  - マッピング
    - DSCP 値から送信キュー 34-59
    - DSCP マークダウン値 34-26
  - マッピングテーブル
    - DSCP の設定 34-61
    - 説明 34-15
  - マルチキャスト
    - IP マルチキャストを参照

- マルチキャスト クライアント エージングの堅牢性 22-3
  - マルチキャスト グループ
    - スタティックに加入 22-8
  - マルチキャスト ストーム制御
    - イネーブル化 44-6
    - WS-X4014 での抑制 44-7
    - WS-X4016 での抑制 44-7
    - WS-X4515、WS-X4014、および WS-X4013+ スーパーバイザ エンジン 44-7
    - WS-X4516 スーパーバイザ エンジン 44-7
    - スーパーバイザ 6-E での抑制 44-6
    - ディセーブル化 44-9
  - マルチキャスト ストーム制御のディセーブル化 44-9
  - マルチキャスト パケット
    - ブロック 43-2
  - マルチキャスト ルータ
    - フラッディングの抑制 21-11
    - ルーティング テーブルの表示 31-18
  - マルチキャスト ルータ インターフェイス 22-13
  - マルチキャスト ルータ ポート、追加 22-9
  - マルチキャスト ルータ 検出 22-4
  - マルチドメイン 認証
    - 設定 37-28
    - ホスト モードの概要 37-7
- め**
- メッセージ、バナーを介したユーザ 4-18
  - メトロ タグ 23-2
  - メンバ
    - 自動検出 12-7
  - メンバ スイッチ
    - 管理 12-14
  - メンバ スイッチ、クラスタ
    - 定義 12-12
    - 要件 12-13
- も**
- モジュール
    - ステータスの確認 7-2
    - 電源切断 10-20
  - モジュール、消費される PoE の表示 11-11
- モニタリング
    - 802.1Q トンネリング 23-14
    - REP 18-15
    - スイッチのトラフィック フロー 49-2
    - トンネリング 23-14
    - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 23-14
- ゆ**
- ユーザ EXEC モード 2-6
  - ユーザ セッション
    - 切断 7-8
    - モニタリング 7-8
  - ユニキャスト
    - IP ユニキャストを参照
  - ユニキャスト MAC アドレス フィルタリング
    - および CPU パケット 4-29
    - およびスタティック アドレスの追加 4-29
    - およびブロードキャスト MAC アドレス 4-29
    - およびマルチキャスト アドレス 4-29
    - およびルータ MAC アドレス 4-29
    - 設定時の注意事項 4-29
    - 説明 4-29
  - ユニキャスト MAC アドレス フィルタリングの設定 42-20
  - ユニキャスト MAC アドレス フィルタリング、設定 ACL
    - ユニキャスト MAC アドレス フィルタリングの設定 42-20
  - ユニキャスト RPF (ユニキャスト Reverse Path Forwarding)
    - BGP 属性
      - 注意 29-5
    - CEF
      - テーブル 29-8
      - 要件 29-2
    - FIB 29-2
    - エンタープライズ ネットワーク (図) 29-6
    - 確認 29-12
      - 失敗 29-4
      - 送信元アドレス 29-4
      - パケット、ドロップ 29-4
    - 実装 29-4
    - 集約ルータ (図) 29-8
    - 制約事項
      - 基本 29-9

- ルーティングの非対称性 29-8
  - ルーティングの非対称性 (図) 29-9
  - セキュリティ ポリシー
    - 攻撃、軽減 29-5
    - 適用 29-5
    - 展開 29-5
    - トンネリング 29-5
  - 設定 29-11
    - BOOTP 29-9
    - DHCP 29-9
    - エンタープライズ ネットワーク (図) 29-6
    - 確認 29-12
    - 作業 29-11
    - 集約ルータ (図) 29-8
    - 前提条件 29-10
    - ルーティング テーブルの要件 29-8
    - (例) 29-15
  - 説明 29-2
  - 前提条件 29-10
  - 送信元アドレス、確認 29-3
    - 失敗 29-4
    - (図) 29-3, 29-4
  - ディセーブル化 29-13
  - 適用 29-5
  - 展開 29-5
  - トラフィック フィルタリング 29-6
  - トンネリング 29-5
  - パケット、ドロップ (図) 29-4
  - メンテナンス 29-13
  - モニタリング 29-13
  - ルーティング テーブルの要件 29-8
  - ユニキャスト トラフィック
    - ブロック 43-2
  - ユニキャスト フラッドイング ブロック
    - 設定 43-1
- よ
- 予約範囲 VLAN
    - VLAN を参照
- ら
- ラベル、定義 34-4
- り
- リスニング ステート (STP)
    - RSTP の比較 (表) 17-27
  - リモート ネットワーク モニタリング
    - RMON を参照
  - 略語リスト A-1
  - 履歴テーブル、Syslog メッセージのレベルと数 46-10
  - リンクおよびトランク ステータス イベント
    - インターフェイスの設定 6-33
  - リンク完全性、REP による確認 18-3
  - 隣接関係テーブル
    - 説明 28-2
    - 統計情報の表示 28-10
- る
- ルータ ACL
    - VLAN マップとの併用 42-32
    - 説明 42-3
  - ルータ ACL、PACL の VLAN マップとの併用 42-38
  - ルーテッド パケット
    - ACL 42-33
  - ルート ガード
    - MST 17-26
    - イネーブル化 19-3
    - 概要 19-2
  - ルート ターゲット
    - VPN 33-3
  - ルート ブリッジ
    - MST での選択 17-25
    - 設定 17-11
  - ルート マップ
    - PBR 32-2
    - 定義 32-4
  - ループ ガード
    - MST 17-26
    - 概要 19-4
    - 設定 19-6
- れ
- レイヤ 2 traceroute
    - 1 ポートに複数のデバイス 7-12
    - ARP 7-11

- CDP 7-11
  - IP アドレスおよびサブネット 7-11
  - MAC アドレスおよび VLAN 7-11
  - 使用上の注意事項 7-11
  - ホスト間パス 7-11
  - マルチキャストトラフィック 7-11
  - ユニキャストトラフィック 1-24, 7-11
  - レイヤ 2 アクセスポート 15-10
  - レイヤ 2 インターフェイス
    - PVLAN 混合モードポートとしての設定 36-15
    - PVLAN トランクポートとしての設定 36-17
    - PVLAN ホストポートとしての設定 36-16
    - show interfaces コマンド 15-8
    - VLAN の割り当て 13-8
    - 設定 15-7
    - 設定のディセーブル化 15-11
    - デフォルト 15-6
    - モード 15-4
  - レイヤ 2 インターフェイス上での VLAN ベース QoS、設定 34-55
  - レイヤ 2 インターフェイス上でのアクセスグループモードの設定 42-36
  - レイヤ 2 インターフェイスのタイプ
    - 設定 36-22
    - リセット 36-22
  - レイヤ 2 インターフェイス、アクセスグループモードの設定 42-36
  - レイヤ 2 スウィッチング
    - 概要 15-2
  - レイヤ 2 制御パケット QoS
    - 概要 34-64
    - 機能の相互作用 34-69
    - 使用上の注意事項 34-68
  - レイヤ 2 トランク
    - 概要 15-3
    - 設定 15-7
  - レイヤ 2 フレーム
    - CoS による分類 34-2
  - レイヤ 2 プロトコルトンネリング
    - 注意事項 23-11
    - デフォルト設定 23-11
  - レイヤ 2 プロトコルパケットのシャットダウンしきい値 23-11
  - レイヤ 2 プロトコルパケットのドロップしきい値 23-11
  - レイヤ 3 インターフェイス
    - インターフェイスとしての VLAN 27-9
    - 概要 27-2
    - 物理 27-3
    - 論理 27-2
    - 設定時の注意事項 27-6
  - レイヤ 3 インターフェイス カウンタ、概要 27-4
  - レイヤ 3 インターフェイス カウンタ、設定 27-12
  - レイヤ 3 インターフェイスへの IPv6 ACL の適用 42-23
  - レイヤ 3 インターフェイス、IPv6 ACL の適用 42-23
  - レイヤ 3 パケット
    - 分類方式 34-2
  - レイヤ 4 ポート演算
    - 制約事項 42-16
    - 設定時の注意事項 42-17
  - レポート抑制、IGMP
    - ディセーブル化 22-12
- ろ
- ロードバランシング
    - CEF の設定 28-7
    - EtherChannel の設定 20-14
    - 宛先別 28-7
    - 概要 20-5, 28-6
  - ログメッセージのシーケンス番号 46-8
  - ログメッセージのタイムスタンプ 46-8
  - ログインタイマー
    - 変更 7-7
  - ログインバナー 4-18
  - ログイン認証
    - TACACS+ 3-20
  - ロケーション TLV 25-7
  - 論理レイヤ 3 インターフェイス
    - 設定 27-7